

在宅無理だよねの壁
一緒に越えませんか？

第10回 函館市医療・介護連携多職種研修会

亀田病院内科 清水平

2025年10月18日



最初に結論

本人が家にいたいという思い
があれば
どんな病状でも不可能はない

主役はご本人
ご本人を起点に考えたい

函館チームは
越えられなさそうな壁も
越える力を持っている

在宅はチームプレイ

仲間がいます

主役のために知恵と力を持ち寄りましょう

まず相談！
各職種それぞれの力を発揮し
本人にいいとこどりを
してもらおうために



最期まで 「金松さん」

年齢＋病名＋ADLなどの匿名のカ
テゴリーではなく

人生の延長線上で生きている存在



介護するおばあちゃんの生きがい

がんばっているおばあちゃんを
助けたくなる人たちの中心

寝たきり全介助老人がコミュニティーをつくるフシギ

本人の「生きる」を支える プロフェッショナル

伸びしろある分野、いいものはいい

家で過ごす、コミュニティで生き続けるということの意義

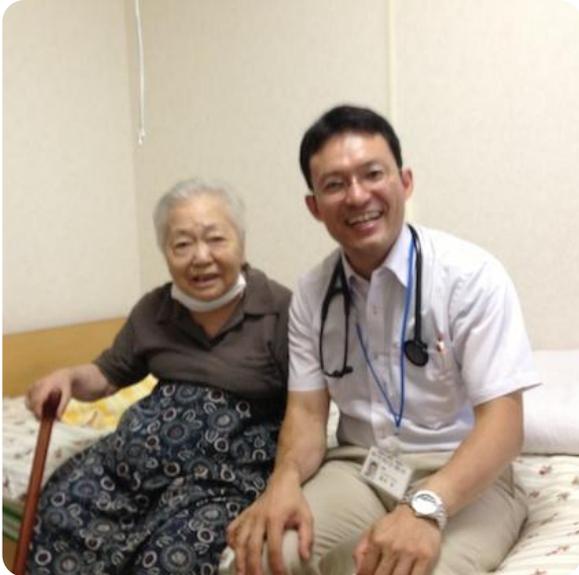
医療機関、施設などいいとこどりができるとうい



在宅の修行

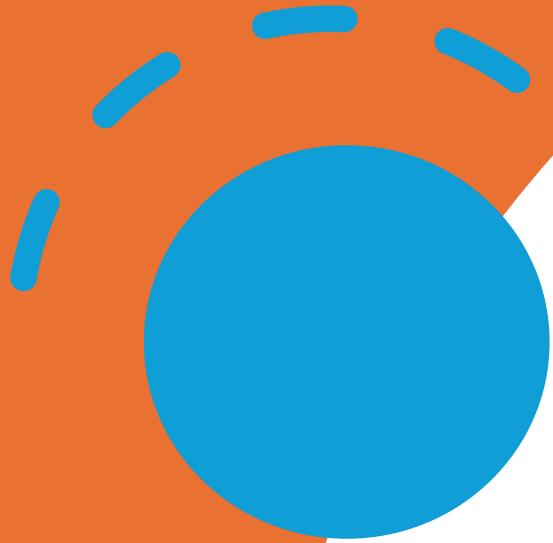
- 手稻溪仁会家庭医療クリニック
 - ホスピスある診療所
 - 建物ができる前の院外研修

- 静明館診療所 (2012-2014)
 - 札幌の在宅医療のパイオニア
 - 矢崎一雄先生(神経内科医、「スーパーマン」)
 - 第8回日本在宅医療連合学会大会2026/7/4-7/5大会長大友宣先生



いろいろ

- 独居・全盲・膵癌ターミナル
- 末期パーキンソン病、とめどない唾液
- 独居・寝たきりALS、体温33-35°C
- 胃癌末期、在宅輸血
- 脳性麻痺男性
- 筋ジス・人工呼吸器、宗谷への墓参り遠征
- 急性肺炎・緊急在宅酸素
- 腹膜透析
- 肥大型心筋症、重症心不全、7L酸素濃縮機x2台
- リハ病院で嚥下機能廃絶と診断されたが
本人「死んでもいいから食べたい」
長女「食べさせてあげたい」



そして函館
2017/4～

主人公

92歳男性

頑固、律義

大腸癌StageIV

もの忘れ

独居

函館市街から15kmの山間部

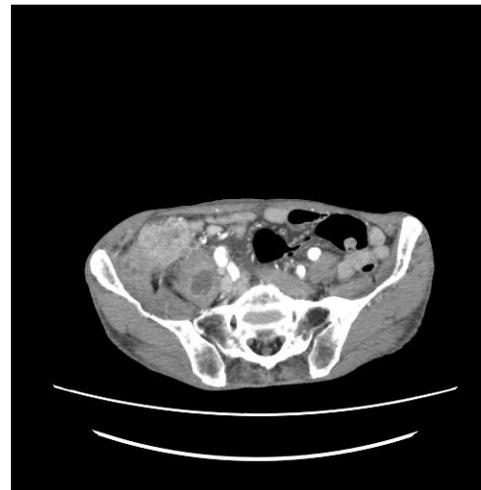
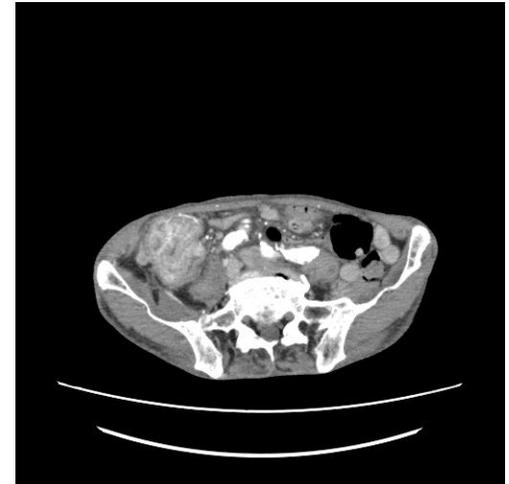
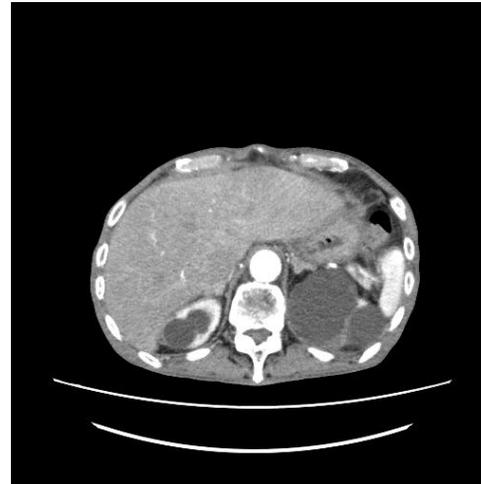
長男と二人で建てた一軒家

初診までの経緯

- 約半年前、妻の闘病中に大腸癌・盲腸周囲膿瘍の指摘を受けたが「ばばあ（妻）の大変な時にそんなこと」と精査加療を辞退妻を看取り4カ月余り、自身の癌は放置
- ある5月の月曜日、右下肢痛で整形外科受診
反対の左大腿動脈閉塞あり心臓血管外科紹介されたが受診は失念
- 金曜午後整形外科の支払いのため再来院、職員が気づき心外診察
血管系は当座問題ないが、炎症高値や凝固延長等あり全身状態不良
→総合診療科に時間外緊急対応の依頼
「おい、うちの○○(Dr.)困ってるから診てやってくれ。」
- 診察室には目チカラあるおじいさんが汚れた背広を着て背筋を伸ばして座っていた。

検査所見

WBC	17600/ μ L
Hb	7.6g/dL
Plt	31.6万/ μ L
PT-INR	1.33
Alb	1.8g/dL
T-Bil	0.4mg/dL
ALT	26/UL
LDH	313U/L
Cre	1.01mg/dL
CRP	19.77mg/dL



重症だが即入は拒否

- 担当ケアマネも駆けつけ、二人がかりで緊急入院の説得
「今日は入院できない」「やらないきゃならないことがある」の一点張り
- 「分かりました。では、薬を1日4回飲むこと、月曜日入院の準備をしてもう一度来ること、万一これ以上具合が悪くなったら救急車ですぐに戻ってくることの三つを約束して頂ければ、今日は外来で点滴をして飲み薬で帰りましょう。」
- 「分かったよ、やるよ」

そして入院

- 初診時は説得に応じず「やることある」とやむなく内服抗生剤で帰宅
- 週明け月曜日、約束通り来院し、入院
「ばばあの一週忌もあるからがんばって治したい」
- 初日夜から大せん妄
- 大腸癌ターミナル
- 制御困難、複雑怪奇な腹部瘻孔と膿瘍感染
- 認知症
- ADL低下、ぎりぎり歩行

「どうしても家に帰りたいたい」

- 高い壁
- それでも帰ってあげたい

独居

癌ターミナル

制御困難な
膿瘍感染

認知症

ADL
歩行ぎりぎり

遠い(亀尾)

だめもとで相談してみた

むちやぶりを快諾

函館おしま病院福德雅章先生

半年前

盲腸周囲炎疑い A病院→B病院

「ばばあが大変な時に」

精査辞退

4月前

妻看取る

4日前

右下肢痛 当院整形→心外紹介

0日

心外↓当科 CTRX div, CVA/AMPC 処方

2日後

入院 大せん妄 TAZ/PIPC

ドレーン留置

「家に帰りたい」

尿カテ抜去

ドレーン抜去 E.Coli AMPC

結腸閉塞目的バイパス術検討

リハビリ

家族面談繰り返す

在宅医福徳先生打診

家屋調査

退院カンファ

1月半後 退院・初回訪問診療



3月後

ステロイド開始

4月後

ホスピス入院

5月後

倦怠感↑、しばしばせん妄、発語不明瞭

5月半後

永眠

「壁」一番は
私たち一人一人の中
かもしれない

胸に手を当て

支える側に

- 函館市医師会在宅医療医会
 - 川口篤也隊長
 - 医師、医療機関間の実務的な連携、新しいシステムづくり
- 亀田病院訪問診療室
 - 専従看護師3名＋維持スタッフ1名配置
 - 医師6名、総合診療、神経内科、消化器内科、呼吸器科の特技を持ち寄る総合チーム
 - 病院機能と有機的運用
 - 個人宅、医療ニーズ高いケース歓迎
 - 毎日夕方5時カンファ
 - 依頼には最短で回答、返事で待たせない



まず、相談
してみよう



既にある地域の力を信じ
ポテンシャルを信じ

一緒に経験を積み

一緒に苦勞し

函館全体で一緒に育っていきましょ
う

壁を越えに行きましょう

ご清聴ありがとうございました